

第7次
夕張市社会教育中期計画

2022年度～2026年度

夕張市教育委員会

Challenge



More

Community Education Section of the Education Division in Yuba County

目 次

1. はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

2. 第7次夕張市社会教育中期計画・・ 3～22

- 1 計画策定の目標・意義・・・・・・・・ 3
- 2 計画の考え方・・・・・・・・・・ 3
- 3 計画の名称と期間・・・・・・・・ 4
- 4 計画の構成・・・・・・・・・・ 4
- 5 計画の位置づけ・・・・・・・・ 5～7
- 6 分類一覧・・・・・・・・・・ 8～9
- 7 各分類詳細・・・・・・・・・・ 10～22

3. 資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23～48

- 第7次夕張市社会教育中期計画策定について 諮問 通知・・・・ 25
- 第7次夕張市社会教育中期計画策定について 答申 通知・・・・ 26
- 審議経過・策定委員名簿・構造図・・・・・・・・・・・・・・・・ 27～28
- 生涯学習に関するアンケート調査結果について・・・・・・・・ 29～48

は じ め に

夕張市教育委員会
教育長 小林 広明

夕張市は、令和2年3月に第2次地方版総合戦略を策定し、目指すべき将来像として、「誰もが幸福に暮らせる持続可能なまち」を掲げました。

これを受け、地域のみなさまが未来に向かって、自分らしく、夢や目標を見つけ、心身ともに健康に過ごすために、スポーツや文化芸術に親しみ、生きがいの感じられる事業を推進してまいります。

また、生涯学習に携わるすべての関係者が、それぞれの果たすべき役割と責務を自覚し、地域の発展を支える学びの役割を認識し、日々模索しながら取り組んでまいります。

令和2年3月より、拠点複合施設りすたも開館したことで、りすたを拠点に市民活動を安心して続けやすい環境が整っています。さらに、これまで関わりのなかった人と人が、自然と関われる環境でもあり、これから一層市民活動が活発になる可能性を秘めています。りすたを含め、地域にある施設を、できる限り使いやすく運営し、環境を整えていきます。

「第7次夕張市社会教育中期計画」は、今後5カ年の方向性を示すものです。新型コロナウイルス感染症の影響で、社会も大きく変わりました。今後どのような社会になったとしても、みなさまとともに、希望を見出しながら、夕張らしい歩みを進めてまいりたいと心から願っております。

おすびに、アンケート調査に回答していただいた皆様、また、社会教育委員各位には、計画策定に向けてご協力を賜りましたことに感謝申し上げますとともに、今後も生涯学習推進のために、お力添えを賜りますよう心よりお願い申し上げます。

第7次夕張市社会教育中期計画

1. 計画策定の目標・意義

目標「豊かな心を育む多様性を尊重した生涯学習」

地方では若者が流出し、高齢化率も高まっており、それぞれの地域の存続が危ぶまれています。このような状況のため、保健福祉・医療分野における社会保障に予算が必要となる一方で、教育分野での予算確保は困難となりつつあります。

学校教育では、ICT教育が進み、誰もが情報化社会に対応できるよう取り組まれ、キャリア教育も洗練化しています。子どもがいる家庭の環境は、核家族化が当たり前になり、家庭の教育力の低下や、孤立した子育ても多くなっているなど、子どもを取り巻く学習環境も変化しています。

このため、誰もが支え合い安心して学習できる環境を作り出すためには、市民1人ひとりが主体となり、近くに住む地域住民や行政との相互の連携・協働が必要となります。

多くの市民が関わることで、夕張市の豊かな自然環境や、歴史、文化なども必然的に次世代に引き継がれていきます。

これらの観点に基づき計画を策定することで、人と人、地域と学校、地域と行政をつなげ、より確かな学習環境を構築できるという意義があります。

2. 計画の考え方

この計画は、第6次夕張市社会教育中期計画の反省・評価及び社会教育委員を含めた、市民へのアンケート意識調査を基礎資料とし、夕張市民憲章や本市の財政状況、国及び北海道の教育の流れを踏まえながら、これからの本市の社会教育の方向性を明らかにするものです。

3. 計画の名称と期間

この計画の名称を「第7次夕張市社会教育中期計画」とし、期間は2022（令和4）年度から2026（令和8）年度の5カ年とします。

なお、施策の具体的な事業等については、事業を年度ごとに柔軟に実施する必要があることから、単年度の社会教育計画の中で示し、年度ごとの事業の反省と評価を積み重ね、目標の達成に努めます。

4. 計画の構成

この計画においては、社会教育全体の事項を5つの大分類にわけ、大分類を構成する事項を小分類とし、詳細について記載しています。

(1) 全領域一般

(2) 子ども・家庭教育

(3) 文化振興

(4) スポーツ振興

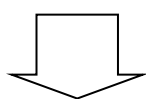
(5) 読書活動

5. 計画の位置づけ

＜目標・指針＞夕張市民憲章・夕張市教育大綱

＜上位計画＞第二期夕張市地方版総合戦略

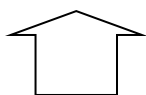
目指すべき将来像「誰もが幸福に暮らせる持続可能なまち」



第7次夕張市社会教育中期計画

計画目標

「豊かな心を育む多様性を尊重した生涯学習」



国 教育振興基本計画等

道 北海道総合教育大綱等

各種計画、指針

市の他の計画

夕張市子ども・子育て支援事業計画等

各種計画、指針

夕張市民憲章

わたしたちは、開基以来石炭とともに生き、きびしい自然や環境に立ち向かってきた、夕張の市民です。

この輝かしい歴史の上に立ち、さらにわたしたちのしあわせを高めるために健康な市民、明るい家庭、住みよいまちづくりをめざして、この市民憲章を定めます。

1. 心とからだをきたえ

たくましい市民になりましょう。

——夕張市民の誇りと責任にかけて——

2. みんなで話し合い、楽しい家庭を築きましょう。

——きょうに悔なく、あすに夢を託して——

3. みんなのしあわせを願い

豊かなまちをつくりましょう。

——郷土の発展に市民の総力を集めて——

昭和47年11月3日制定

夕張市教育大綱

基本理念

自然豊かな緑の大地と炭鉱の歴史、そして幾多の困難を乗り越え築かれた「夕張」

■ 郷土ふるさとに誇りを持ち、共に支え合い、

未来に向かって夢や希望に満ちた子どもたちを育む

■ 市民生活が心豊かなものとなるよう身近に文化の風が感じられる

「夕張文化」の創造と発展を期す

基本目標

- 確かな学力を身につける教育の推進
 - ・ 基礎的な知識・技能の習得
 - ・ 自ら考え、判断し、表現する力
 - ・ 様々な問題に積極的に対応し、解決する力
- 豊かな人間性を身につける教育の推進
 - ・ 明るく素直で元気な夕張っ子の育成
 - ・ 礼儀正しく、心豊かでやさしい夕張っ子の育成
 - ・ 社会に適応する協調性をもった夕張っ子の育成
- 健やかな心身を育む教育の推進
 - ・ 健康でたくましい身体からだづくり
 - ・ 地域に密着したスポーツの推進
 - ・ スポーツ施設の整備、充実、利用の促進
- 人と人、地域と地域をつなぐ社会教育の推進
 - ・ 郷土の文化や芸能を保護し、歴史を愛する市民の育成
 - ・ 生涯学習活動、鑑賞機会の提供と施設整備
 - ・ 郷土の文化財保護と活用

6. 分類一覧

大分類	小分類（施策の柱）	要点
(1) 全領域一般	① ネットワーク構築による社会教育活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政、地域、企業、市民団体、学校教育との交流による効果的な事業展開 ・ 学校支援体制の推進 ・ 連携・協働による事業の推進
	② 各地域コミュニティの活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各団体の活動内容の情報発信 ・ 活動促進のための支援
	③ 集える施設づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 居心地のよい施設運営
(2) 子ども・家庭教育	① 家庭内の教育力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゆうばりっ子ひろばなどを活用した親子向けの事業の実施 ・ 子どもの体験活動の充実
	② 地域の教育力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 見守りボランティアの意識向上 ・ 習い事などの情報発信
	③ 子どもたちの健やかな育成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然体験学習、郷土学習の充実 ・ 学力・体力の向上支援
(3) 文化振興	① 学習活動の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人材バンクの充実、情報発信 ・ 芸術体験事業の実施 ・ 継続的な学習機会の提供
	② 芸術文化の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・ 旧夕張市美術館収蔵作品の継続的な活用 ・ 音楽発表会の継続実施
	③ 歴史文化・自然環境の保護継承	<ul style="list-style-type: none"> ・ 石炭博物館の有効活用 ・ 文化財保護委員との協働による夕張岳などの市内文化財の保護や市民周知

大分類	小分類（施策の柱）	要点
(4) スポーツ振興	①生涯スポーツの振興	<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくりの定着と指導者の育成 ・多世代が参加できるスポーツ事業の実施 ・ユルっとゆうばりスポーツクラブの運営支援
	②既存施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズを踏まえた整備と活用 ・施設利用や事業に関する情報発信
(5) 読書活動	①図書館機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・りすた図書館からの情報発信 ・利用しやすい資料整理 ・道立図書館支援事業の活用 ・他図書館との交流
	②読書習慣の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭での読書支援の推進 ・学校との連携 ・ボランティア団体「ひなたbook☺」のサポート ・りすた図書館の活動および資料についての情報発信 ・利用に即した資料整理と提供 ・蔵書及び巡回用図書の実充 ・学校読書活動支援 ・ブックスタート事業 ・図書館講座・研修への参加

7. 各分類詳細

第6次社会教育中期計画実施期間（平成28年度～令和3年度）と現状を振り返り、課題を整理し、今後生涯学習の観点から市民とまちが目指す姿を記載している。また、実際に事業を実施する上での重点・方向性なども記載した。

(1) 全領域一般

① ネットワーク構築による社会教育活動の推進

現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・繋がりによる学習機会は、特色ある教育を実践しやすく、学習者の満足度も高いため、これまでも実施されている。 ・連携に重点を置いた事業展開については、安定して実施していたものの、新型コロナウイルス感染症の影響や地域の人口減により、年々繋がりが薄れてきている。 ・地域学校協働本部における地域コーディネーターなどの担い手不足が続いている。また、連携できる企業も減少している。
目指す姿 目指すまち	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内外の交流が年間を通じ実施され、様々な学習を通じて、学ぶことが好きな市民が多いまち。
具体的にこれまで実施した事業など	<ul style="list-style-type: none"> ・通年で学校運営協議会(コミュニティ・スクール)・地域学校協働本部の運営・事業の補助。 ・社会教育委員との連携による学習機会運営の支援。 ・各教育機関との情報共有。 ・ふるさと人材バンクの運用。
重点・方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・学びたいニーズを常に把握し、ネットワークの中で実践できる機会があった場合は積極的に事業を実施する。 ・子どもたちにとってキャリア教育になる場合、積極的に学校とも連携する。

② 各地域コミュニティの活性化

<p>現状と課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文化芸能団体や地域の育成団体など社会教育関係諸団体の活動は、高齢化や構成数の減少などによる停滞感がある。 ・各団体の活動は既存施設等を活用し努力されており、りすた開館後は、多くの活動がりすたで実施されるようになった。 ・市内でも特に過疎化が進む地域では、コミュニティ活動の減退が続いている。 ・これまで社会教育事業に参加していなかった市民が、りすた開館後に参加することが多くなった。 ・りすたを中心とした、緩やかにまち全体に広がるコミュニティが形成されつつある。 ・地域の伝統文化の担い手が減少し、伝承機会も減っている。
<p>目指す姿 目指すまち</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・活動するコミュニティに対し、1人ひとりが誇りをもち、新たな住民もコミュニティに参画しやすいまち。
<p>具体的にこれまで実施した事業など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・りすたチャレンジ協働事業において、地域福祉の向上のための「まちあいカフェ」を共催で実施。 ・地域伝統文化の公開練習の支援。 ・各団体の紹介。
<p>重点・方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少する中で、これまでと同様の事業を実施しようとすると、必然的にこれまで関わったことがない人同士が関わる機会も増えていくことから、互いの活動を尊重しあいながら事業を実施する。 ・自主的に創造する力を鍛えることができる事業の実施。



りすた Challenge 協働事業で→
実施した「まちあいカフェ」。
地域の拠り所として開所。

③ 集える施設づくり

<p>現状と課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市内には、コミュニティ・センターやふれあいサロンなど、高齢者が安らかに過ごせる場所が多い。 ・子育て世帯や働き世代が気軽に立ち寄れる場所として、りすたの利用が浸透している。 ・りすた図書館を習慣的に利用する高齢者や中高生が多数いる。 ・学校を拠点とした、コミュニティ・スクールの導入が浸透しており、市民の学びの場としても活用が期待されている。 ・ゆうぱり文化スポーツセンターには、毎週クラブ活動などが実施されており、初心者でも参加しやすい活動が増加している。
<p>目指す姿 目指すまち</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが安心して居られる、多様性が尊重される場所があるまち。 ・居心地よく過ごしながら、楽しく明るく学びができる場所があるまち。
<p>具体的にこれまで実施した事業など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多世代交流による次世代育成を目的とした郷土愛教育事業を通じたりすたの景観整備。 ・様々な利用について対応する窓口相談。 ・施設を紹介するパンフレットや広報新聞の発行。
<p>重点・方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・初めての人や、地域外の人にも分け隔てなく利用しやすい環境づくり。 ・各施設・機関が連携し、住民の求めに応じ、施設の紹介や、対応をできるようにする。



↑りすたの景観美化のため、花植や石拾いをする様子。

(2) 子ども・家庭教育

① 家庭の教育力の向上

<p>現状と課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・対象年齢が限られた事業については市内教育機関を通じたチラシによる周知で対応している。 ・口コミにより事業への参加が多くなる傾向がある。 ・学びたい人はインターネットや通信教育を通じ学び続けているため、市として実施する事業は、リアルでしか味わえない情感や感覚を重視し、誰でも参加できる事業を実施する必要がある。 ・学習相談に対しては、これまで同様講師の紹介などを実施してきたが、人材バンクは市民に浸透していない。 ・学習形態の変化や人口減により、集団での学習活動に対する相談はアンケートでも多く寄せられている。 ・社会教育係で地域の人材を知り、市民の学習相談に応え得るパイプを多くもっていることは重要であるため、人材の発掘、コーディネーター機能の向上は不可欠である。
<p>目指す姿 目指すまち</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分らしく子育てしながらも、困った時に相談できる人・手助けしてくれる地域の人が子育て世帯の周りにはいるまち
<p>具体的にこれまで実施した事業など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・わくわくプロジェクトや季節にあわせたカボチャランタン教室などの、親子を対象とした、遊びを中心とした体験学習。
<p>重点・方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育の自主的な教育を尊重しながら、地域全体で親子の育ちをサポートできるようにする。 ・規則正しい生活習慣や食習慣を促すように、衣食住のスキルを磨くことができる要素を事業に取り入れる。



↑「親子餅つき体験会」の様子。体験しながら食の大切さを学びました。

② 地域の教育力の向上

<p>現状と課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校が市内で1校のみであることから、地域住民が子どもと接する機会が減少している。このことから実施する事業では、地域住民や子どもの健全育成に関わる大人が、子どもを知るきっかけとなるよう企画してきた。 ・学校支援事業の一環でバス停や通学時の見守り活動などは継続されているが、各地区においては少ない子どもたちやその保護者との接点がなかなかない状況である。 ・家庭教育事業については、国・道の重点施策を受け、生活リズム向上の取り組みや土曜日を有効活用した事業を新規事業として推進している。 ・生涯学習カレンダー「まなび〜ば」を廃止したが、りすたを中心とした活動を新聞形式でまとめ、子どもだけでなく、保護者、地域住民ともつながっていくよう情報発信を続けている。
<p>目指す姿 目指すまち</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で教育に関わるボランティアなどが、生きがいを感じながら、活動できるまち。また、健康や体力の維持にもつながる活動ができるまち。 ・「お互い様」の精神を大切にするまち。
<p>具体的にこれまで実施した事業など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ボランティアの登下校の見守り。 ・地域ボランティアを対象とした学習会の実施。
<p>重点・方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで活躍機会が比較的に少ない成人が、地域コミュニティの中核であることを踏まえ、成人を含めた様々な地域の人材が活躍できる場面をつくるようにする。 ・老年の学習者が誇りと尊厳をもって、若い世代と交流できるようにする。



←小学生の登下校の見守り
地域ボランティアの様子

③ 子どもたちの健やかな育成

<p>現状と課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの学力低下やゲーム依存などの事例が増えている。 ・子どもの人数が減少し、日常的に異年齢での活動や、遊び相手が減少している。遊び相手がいないことから、長期休みに家でだらけて過ごす子どもがいる。 ・市内の習い事などが少しずつ廃止され、放課後や余暇を利用した学習機会が減少している。 ・他地域との交流が減少しているため、積極的に交流機会をつくり、広い視野を獲得することや、郷土愛教育として、市外から見たまちの魅力がわかるようにする必要がある。 ・子どもの数が減少したことで、1人ひとりに目が届き、じっくり考えさせたり、体験させることができるようになってきている。 ・生活リズム向上の取り組みや土曜日を有効活用した事業を新規事業として推進している。
<p>目指す姿 目指すまち</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・他者に優しく、協力することの大切さを知っている子ども。 ・子どもたちが、自分なりに好きなことを見つけ、夢に向かって、様々なことに探求できるまち。
<p>具体的にこれまで実施した事業など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語指導助手 ALT(Assistant Language Teacher)が認定こども園や保育園に出向き、気軽に英語を用いて遊ぶ「えいごであそぼう」を実施。 ・長期休みに生活習慣が乱れることを予防することを目的とした、「朝活キッズ・りすたが児童館」を実施。
<p>重点・方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後や余暇の時間は、できる限り気軽に体験できる事業にする。 ・親子や地域住民が自然と関われるように事業を実施する。

ALTの「えいごであそぼう」→
実施の様子。



(3) 文化振興

① 学習活動の支援

<p>現状と課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報化社会であるため、学ぶ意欲がある者は、通信教育などを利用して学習している。 ・ 余暇を利用し、市外での講座などに参加し、学習に取り組むこともできる。 ・ 集団での学習より、個人での学習が浸透しているため、個人の興味が学習の動機となっている。 ・ りすたなどでの講座は、気軽さが求められている。 ・ 高齢者は、文化団体を運営し、グループでの活動を年間通じて実施していることが多い。 ・ 求めに応じ、小学校での放課後学習の支援を実施している。 ・ 個人での学習が進む一方で、「つながり」の重要性を感じている市民は多い。
<p>目指す姿 目指すまち</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民全員が自分なりに学べる環境をもち、いきいきと学習ができるまち。
<p>具体的にこれまで実施した事業など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者を対象に年5～7回様々な講師を招聘し、講座を実施する、「もも倶楽部」事業。 ・ 令和3年度から始まった、職業などにも活かせる内容をテーマにした「未来を創るりすた市民学習講座」事業。 ・ 外国語指導助手 ALT が講師を務める「実践英会話教室」の実施。 ・ 習い事の相談や施設の利用方法についての相談など。
<p>重点・方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加者が気軽に参加できるように、常に創意工夫して事業を実施すること。 ・ 「健康づくり」「人生を豊かにできる」要素を取り入れて事業を実施すること。



←りすた市民学習講座の様子。

② 芸術文化の振興

<p>現状と課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ りすたの利用が活発で、芸術文化活動の拠点となっている。 ・ 音楽や芸能団体の発表の場として、りすたが活用できないか試行錯誤されている。 ・ 芸術鑑賞事業の計画的実施 ・ 平成22年度以降復活した市からの補助金により、小中学校において年1回ずつの鑑賞教室を実施。 ・ 旧夕張市美術館収蔵作品の整備と定期的な公開を、りすたで実施。 ・ 高齢化により、文芸大会などが実施困難となった。
<p>目指す姿 目指すまち</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自らの芸術文化に誇りをもち、住民同士で尊敬しあいながら多様であることを好きでいられるまち。
<p>具体的にこれまで実施した事業など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎年7月に実施する、いけばな・詩歌・書道分野の合同展である「雪月花展」開催の支援。 ・ 毎年10月に実施する、老若男女、ジャンルの境なく誰でも作品を出品できる「夕張市民文化祭」の実施。 ・ 夕張書道連盟が主催する「新春書初め大会」開催の支援。
<p>重点・方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文化の継承の場として、コミュニティ・スクールを核に、地域住民が参画できるように支援する。 ・ 各文化団体の高齢化が進み、事業の存続が難しくなっているため、持続可能な方法を模索し、文化が途絶えないよう配慮する。 ・ 映画の街として知名度もあり、映画に親しむ市民も多いことから、映像文化の継承を支援する。



↑夕張市民文化祭の様子。
りすた全体を利用した。



↑中学校での芸術文化体験授業の様子。

③ 歴史文化・自然環境の保護継承

<p>現状と課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・石炭博物館は、平成 30 年に本館のリニューアル工事が完了し、平成 28 年度には模擬坑道の改修工事を実施したものの、平成 31 年 4 月に火災が発生した。その他の文化財も含め、保存・活用の方向性を毎年精査し、実行する必要がある。 ・老朽した SL 館（休館中）に展示している SL などの活用方法の検討を必要としている。 ・夕張岳の保全活動などを実施するユウパリコザクラの会との保全に係ることなどの協働作業を毎年実施している。 ・夕張岳周辺的环境がわかる案内板を令和 3 年に寄贈を受け、設置した。 ・登録有形文化財「採炭救国坑夫の像」については、劣化していたため、令和 2 年に修復作業を実施した。 ・文化財の保存、活用及び継続的な市民周知が必要である。また、周知するための、学術的な研究なども必要となる。
<p>目指す姿 目指すまち</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な他者の人生や、自然の中にある生物多様性を知り、命の大切さがわかるようになる。 ・郷土の歴史文化・自然環境に愛着を持ち、文化的な感性を醸成できるまち。
<p>具体的にこれまで実施した事業など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財保護委員との保護継承活動。 ・採炭救国坑夫の像の修復作業。
<p>重点・方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急性に応じて重点的に保存する文化財を選定する。 ・文化財の保護活動を通じて、地球、社会の仕組みや変遷、あり方などを考えることができるように事業を実施する。 ・夕張の宝であるメロンなどについても学ぶため、農業についての学習機会をつくる。



←
令和 2 年に補修を実施した、登録有形文化財「採炭救国坑夫の像」。



↑令和 3 年に設置した、天然記念物夕張岳を紹介する観光案内板

(4) スポーツ振興

① 生涯スポーツの振興

<p>現状と課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゆうばり文化スポーツセンターなどの施設が指定管理されていることにより、施設の利便性は向上している。 ・ ユるっとゆうばり総合型スポーツクラブの活動が5年以上継続され、その活動が市民に認知され、定着している。 ・ 平和運動公園はネーミングライツが導入されており、また、指定管理されていることにより、芝管理が比較的良好に保たれている。 ・ 紅葉山パークゴルフ場は安定して地域住民を対象に運営されている。 ・ 市営球場、市民健康会館については老朽箇所も多く、利用者も減少している。 ・ スポーツやレクリエーションは、健康づくりに励む市民が多く、街全体で最も広く浸透している活動になっている。
<p>目指す姿 目指すまち</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康づくりのスポーツ活動が日常に定着し、主体的なスポーツ活動が楽しめるまち。 ・ 自然環境や整備されたスポーツ環境を活かし、市内外の多様な交流が生まれるまち。
<p>具体的にこれまで実施した事業など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学童保育所、夕張市体育協会と協力し、ゆうばり文化スポーツセンターで子どものために実施した「ゆうばりっ子スポーツフェスティバル」事業。
<p>重点・方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツ習慣を定着させるため、特に子どもたちが各種少年団活動や部活動、子どもの居場所などで、スポーツに親しめるように事業を実施する。 ・ スポーツの指導員育成に努める。

小学生を対象にした→
「ゆうばりっ子スポーツフェスティバル」
の開会式の様子。



② 既存施設の整備

現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育施設として管理されている体育施設は「ゆうばり文化スポーツセンター」、「平和運動公園」、「市営野球場」、「紅葉山パークゴルフ場」などがある。 ・社会教育施設として管理されている博物館は、石炭博物館がある。
目指す姿 目指すまち	<ul style="list-style-type: none"> ・住民のニーズにあった施設が整備され、安心して活動できる環境があるまち。
具体的にこれまで実施した事業など	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して使用できるように、民間の専門的な知識や技術を活かせる各施設の指定管理を実施。 ・各施設における新型コロナウイルス感染症対策を実施。
重点・方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・市内外のニーズを確認できるよう、継続的なアンケート調査などを実施する。



←ゆうばり文化スポーツセンター
↑平和運動公園 サッカー場



←紅葉山パークゴルフ場
↑清水沢プール

(5) 読書活動

① 図書館機能の充実

<p>現状と課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・主に広報ゆうばりを通じて情報発信している。 ・季節にあわせて小企画展示などを実施している。 ・年3回、道立図書館市町村支援事業を利用し本の入れ替えを実施しており、その時期を狙って来館するリピーターも多い。小学校で実施しているブックフェスも子どもたちに人気があり、本に触れる機会でもあり、児童・教職員・ボランティアの交流の場にもなっている。 ・りすた開館により、図書館が南清水沢地区に移設されたことで、利用者が増加している。 ・常に新鮮で正確な情報の提供をするためにも、司書やボランティアの研修機会や、司書同士の交流による情報交換が重要となっている。 ・郷土資料目録を作成したが、今後はりすた図書館の閉架書庫の郷土資料を整理し、さらに調べやすくし、また、司書以外の職員にも情報を引き継ぐ必要がある。
<p>目指す図書館像</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい本に出会い、いつでも本が読みたくなる図書館。 ・利用者の知りたい、調べたいをお手伝いできる図書館。
<p>具体的にこれまで実施した事業など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館窓口でのレファレンスサービスの実施。 ・図書購入リクエストを、年間を通じて募集している。 ・放送ライブラリーストリーミングサービスを利用した、動画視聴サービスの実施。
<p>重点・方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館は、個人が自由に学習することに適した場所であるため、利用しやすく入りやすい雰囲気づくりに努める。 ・郷土資料が調べやすくなるよう努める。



↑りすた図書館の内観

② 読書習慣の推進

<p>現状と課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民団体「夕張子ども文化の会」の協力で平成21年度からブックスタート事業を実施し、平成29年度からは教育委員会において予算化して引き継いだ。 ・週1～2回で、小学生を対象に、司書とボランティアによる「朝の読み聞かせ」及び「ブックトーク」を実施している。ボランティアの協力を得ながら図書室及び図書の整備も継続して実施している。 ・月1回老人ホームや学童クラブなどへの巡回文庫を実施している。 ・子どもたちの読書活動をより促進できるよう、ボランティアが活動しやすい環境を今後も作り、研修会への参加や次世代のボランティアの育成を進める必要がある。
<p>目指す姿 目指すまち</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が読書を習慣化し、自分なりに考え、主体的に課題解決できるようになる。 ・赤ちゃんから高齢者まで年齢を問わず、読書に親しめるまち。
<p>具体的にこれまで実施した事業など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年秋の読書週間に合わせて、1日楽しめるイベントとして、紙芝居、語り、工作などのプログラムを組む、「図書まつり」を実施している。 ・蔵書のうち、古くなったものや寄贈図書で重複した本を、市民が無償で持ち帰ることができる「古本市」を実施している。 ・乳幼児の図書に触れるきっかけづくりとして、1歳半健診での絵本紹介として「ブックスタート」事業を実施している。
<p>重点・方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせボランティアを育成できるよう、講座などを積極的に開催する。



←毎年10月にりすた図書館と市民団体「ひなた book」が実施している図書まつりでのパネルシアターの様子。

資料

令和3年8月20日

夕張市社会教育委員の会
委員長 小 網 敏 男 様

夕張市教育委員会
教育長 小 林 広 明

第7次夕張市社会教育中期計画の策定について（諮問）

本市は、平成29年度から令和3年度までの5カ年、第6次夕張市社会教育中期計画を策定し、諸施策の推進を図ってまいりました。

この社会教育は、計画に基づき、人と人、地域と地域を結び、地域が学校を支え、より豊かな学習環境を作り上げることを目指してきました。

また、平成31年4月に、国の登録有形文化財「旧北炭夕張炭鉱模擬坑道」で火災が発生しましたが、今後日本の産業の礎を築いた夕張の石炭産業の歴史を後世にまで伝えるため、どのような事業が実施できるのか、試行錯誤を続けなければならない状況にあります。

さらに、高齢化率は50%を超え、出生数は増加していません。

夕張市教育委員会では、こうした地域課題を踏まえ、柔軟な発想と将来を展望した社会教育行政を推進するために、第7次社会教育中期計画(令和4年度から令和8年度)を策定することといたしました。

つきましては、人材育成を通じたまちづくりの視点に立った社会教育推進のための基本方針と、時代の要請に応える施策について諮問いたしますので、令和4年2月を目途に答申くださいますようお願い申し上げます。

(検討の視点)

- 1 社会教育の現状と課題
- 2 地域課題を踏まえた社会教育推進の方向性と施策

令和 4 年 2 月 16 日

夕張市教育委員会
教育長 小林 広明 様

夕張市社会教育委員の会
委員長 小網 敏男

第 7 次夕張市社会教育中期計画の策定について（答申）

令和 3 年 8 月 20 日付けで夕張市教育委員会から諮問を受けました「第 7 次夕張市社会教育中期計画の策定」について、夕張市社会教育委員の会では、これまでの約 6 か月に渡り協議をしておりました。

協議にあたっては、市民を対象としたアンケート結果と社会教育委員による各分野に対する意見をもとに検討し、今後 5 年間の目標を「豊かな心を育む多様性を尊重した生涯学習」と定め、この度、別冊のとおり答申としてまとめました。

人口減少・高齢化率の上昇に伴う本市の住民意識や市民活動の形は大きく変容し、社会教育行政に期待される役割も少しずつ変わってきています。

この答申が、市民がいきいきと暮らす生涯学習から始まるまちづくりへの一助になることを願い、関係各位の一層の努力と連携による取り組みに期待いたします。

* 第7次社会教育中期計画策定審議経過 *

月 日	会 議 等	内 容
令和3年8月20日	教育委員会	諮問
令和3年8月23日		アンケート受付開始
令和3年11月3日		アンケート受付終了
令和3年11月30日		アンケート集約
令和4年1月26日	社会教育委員会議・ 策定委員会	答申（案）について
令和4年2月16日		答申

* 第7次社会教育中期計画策定委員名簿 *

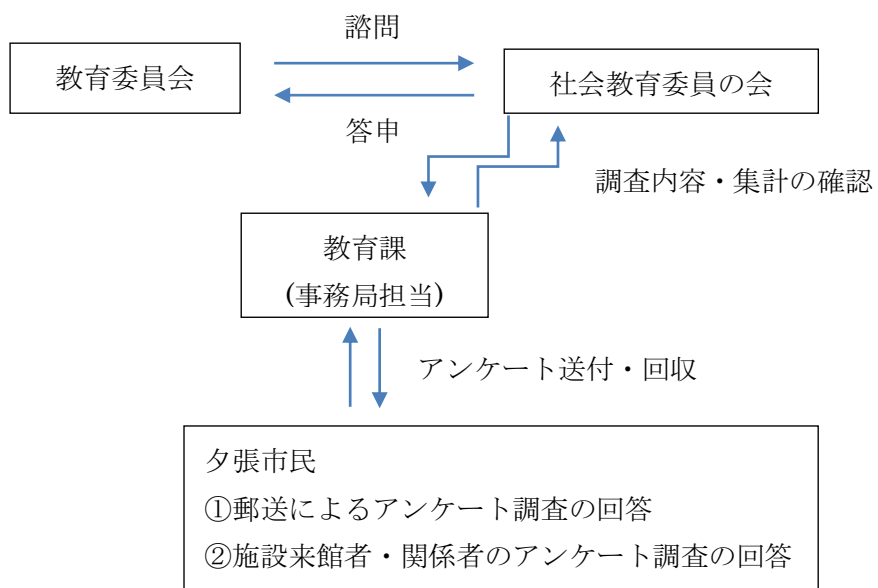
社会教育委員の会

委員長 小 網 敏 男	
委員 小 竹 陽 子	委員 豊 田 英 幸
委員 堀 内 郁 子	委員 八 柳 克 博

教育委員会事務局（社会教育担当）

教 育 課 (社会教育担当)	教育課 課 長 寺 江 和 俊
	社会教育係 主 幹 本 間 功 雅
	主 任 神 里 藍
	主 事 山 口 一 樹 (社会教育主事)
	主事補 箕 浦 晃 子 (社会教育主事)
	事務員 増 井 悠 太
	会計年度任用職員 下 山 裕 美
	会計年度任用職員 平 井 由美子 (司書)

* 構造 図 *



■生涯学習に関するアンケート調査結果について

地域内外の人と各地域を繋ぎ、文化と歴史にいつでも触れることができる、広がりや深みのある社会を創るため、社会教育や生涯学習についてどのように考えているのか、調査を実施しました。なお、質問に対し、回答数が超過した場合などは、基本的に無回答として取り扱っています。

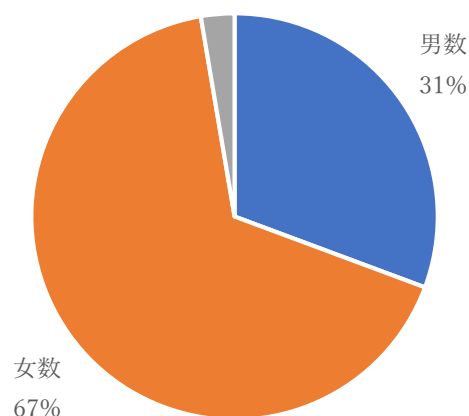
調査の対象	18歳以上で、夕張市に住民登録をされている方、普段から夕張市内で働いている方
調査期間	令和3年8月23日～令和3年11月3日
配布・回収	配布：ランダムに100名を抽出し、アンケートを郵送し、回答を返送してもらおう方法と、市内社会教育施設に回答BOXを設置し、回答を投函してもらおう方法。 回収：75件

調査回収状況

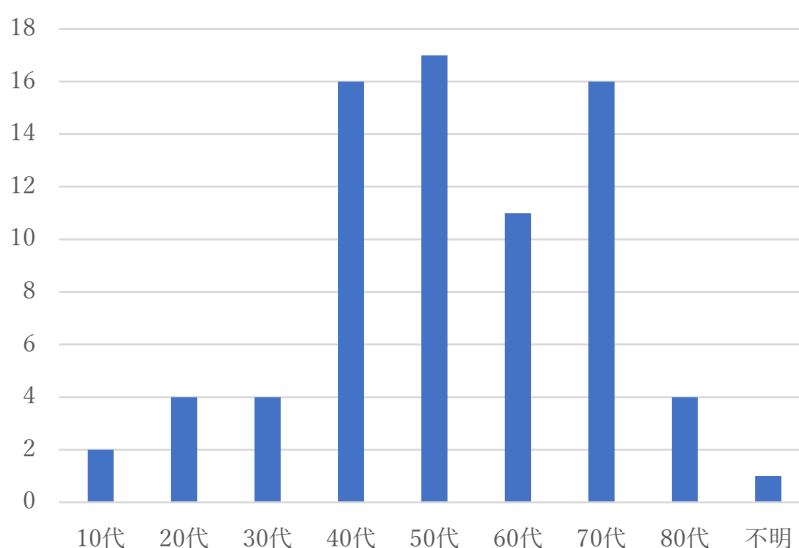
性別	回答数
男	23
女	50
不明	2
	計 75

その他・不明

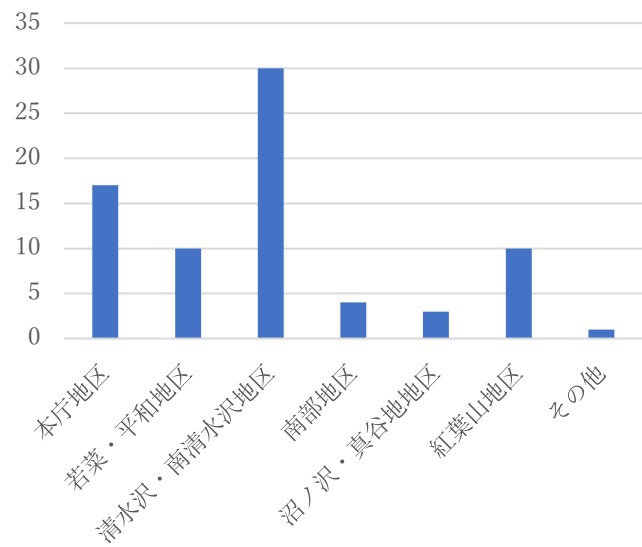
2%



年代	人数
10代	2
20代	4
30代	4
40代	16
50代	17
60代	11
70代	16
80代	4
不明	1



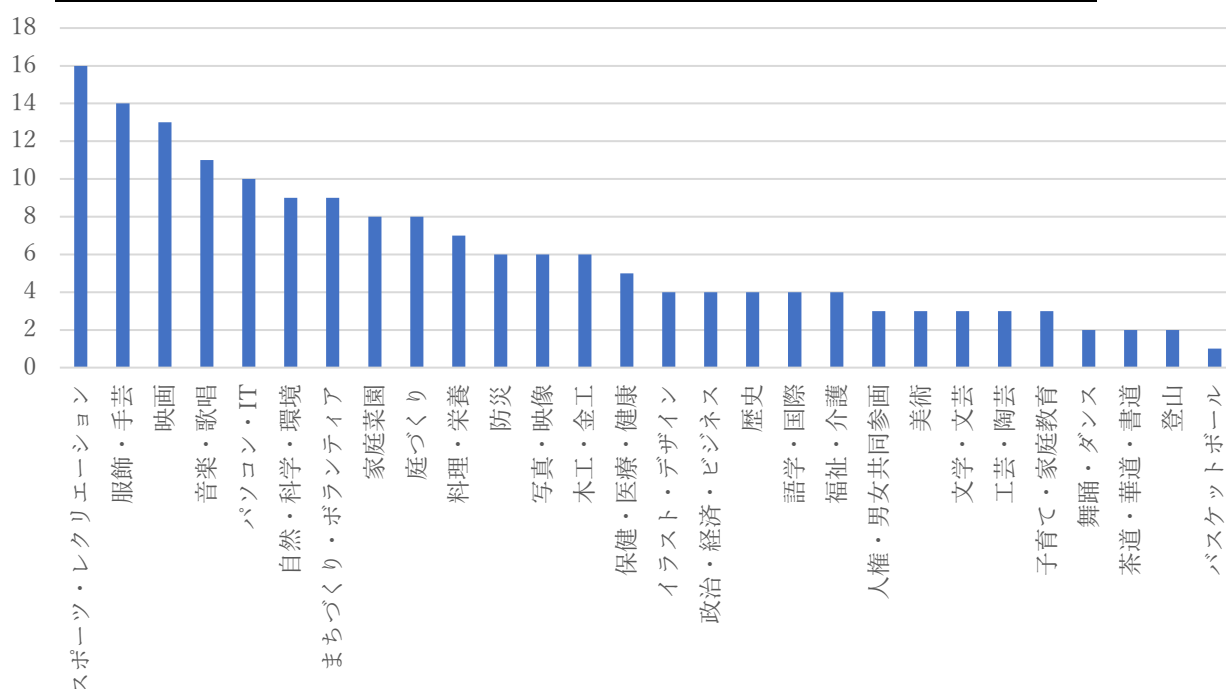
地域別	回答数
本庁地区	17
若菜・平和地区	10
清水沢・南清水沢地区	30
南部地区	4
沼ノ沢・真谷地地区	3
紅葉山地区	10
その他	1



女性の回答数が、男性の2倍ある。若者世代の回答は少なく、40～70代の回答が多い。地域別の割合は、ほぼ人口比率と同じである。

問1 この1年間であなたが行っている学習や体験、趣味、娯楽等の活動について、下記の中から選択(複数選択可)してください。必要に応じて「その他」にお書きください。

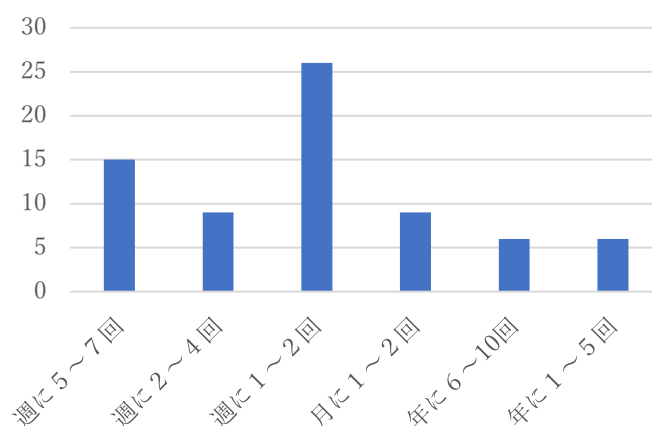
選択肢	回答数	選択肢	回答数
スポーツ・レクリエーション	16	イラスト・デザイン	4
服飾・手芸	13	政治・経済・ビジネス	4
映画	14	歴史	4
音楽・歌唱	11	語学・国際	4
パソコン・IT	10	福祉・介護	4
自然・科学・環境	9	人権・男女共同参画	3
まちづくり・ボランティア	9	美術	3
家庭菜園	8	文学・文芸	3
庭づくり	8	工芸・陶芸	3
料理・栄養	7	子育て・家庭教育	3
防災	6	舞踊・ダンス	2
写真・映像	6	茶道・華道・書道	2
木工・金工	6	登山	2
保健・医療・健康	5	その他(バスケットボール)	1



「スポーツ・レクリエーション」が最も活動されていることがわかる。
「映画」「服飾・手芸」が次いで活動頻度が高く、どちらも家庭内で実施できるものとなった。

問2 問1で回答した活動の頻度を選択してください。

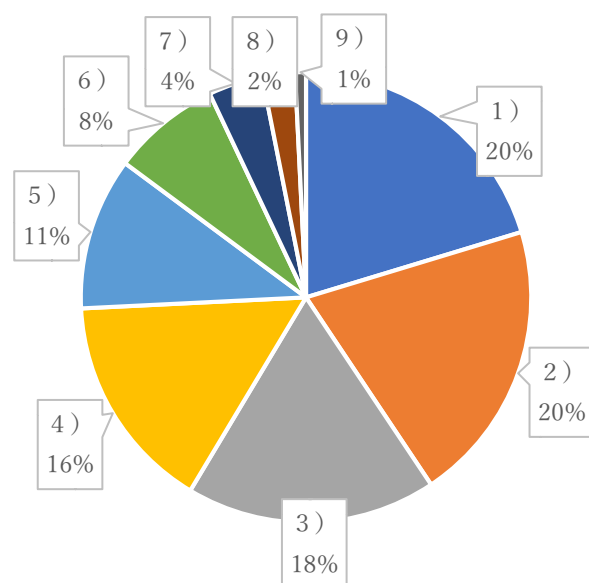
選択肢	回答数
週に5～7回	15
週に2～4回	9
週に1～2回	26
月に1～2回	9
年に6～10回	6
年に1～5回	6



「週に1～2回」の活動が最も多く、次いで最も頻度が高い「週に5～7回」の活動となった。

問3 これまで学んだことを活用している分野があれば、下記の中から選択(複数選択可)し、必要に応じて「その他」にお書きください。

選択肢	回答数
1) 自分の人生をより豊かにしている	26
2) 自分の健康づくりに役立っている	26
3) 仕事や職業	23
4) 家庭生活	20
5) まちづくりやボランティア活動	14
6) 地域の人々の学習やスポーツ活動、文化活動の指導	10
7) 資格の取得	5
8) 無回答	3
9) その他()	1

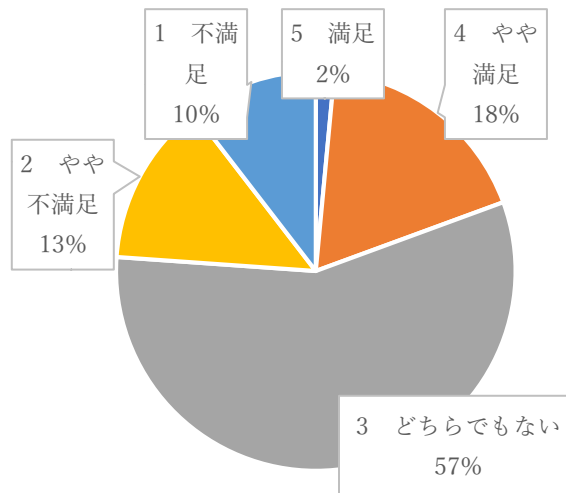


個人の「人生をより豊かにすること」「健康づくり」が最も高い分野となって、逆に職業等に利用できる「資格の取得」は少なかった。

問4 夕張市内での学習環境についての満足度で該当するものを、下記の中から選び、数字に○をつけてください。また、その理由をお書きください。

5 満足 4 やや満足 3 どちらでもない 2 やや不満足 1 不満足

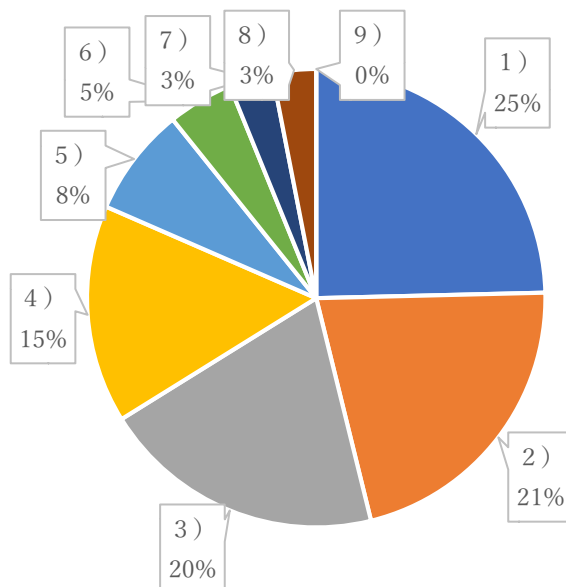
選択肢	回答数
5 満足	1
4 やや満足	12
3 どちらでもない	38
2 やや不満足	9
1 不満足	7



「どちらでもない」が最も多いものの、相対的に、やや不満足の方が割合が高い傾向がある。

問5 今後、社会教育行政に期待する取り組みを、下記の中からお選びください。(1つのみ)

選択肢	回答数
1) 家庭教育・子育て	16
2) 生涯にわたる学習活動	14
3) 芸術・文化活動	13
4) 生きがいづくりのスポーツ活動	10
5) 高齢者教育	5
6) 競技力向上のスポーツ活動	3
7) 成人教育	2
8) 青少年教育	2
9) 本や読書の活動	0

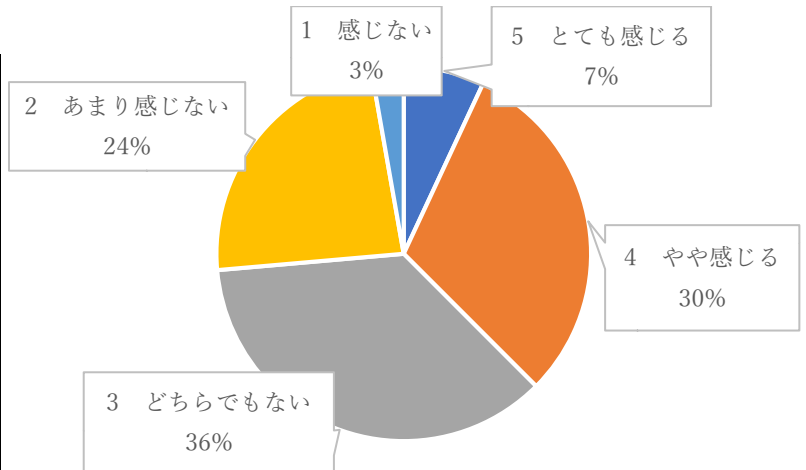


「家庭教育・子育て」が最も高く、次世代育成に高い関心があることがわかる。次いで、「生涯にわたる学習活動」が多かった。

問6 第6次社会教育中期計画の基本方針は、人と人が手をつなぐ「広がりのある社会教育体系に向けて」でしたが、「つながり」を感じながら日々過ごせていますか。下記の中から、数字に○をつけてください。

5 4 3 2 1
 とても感じる やや感じる どちらでもない あまり感じない 感じない

選択肢	回答数
5 とても感じる	5
4 やや感じる	22
3 どちらでもない	26
2 あまり感じない	17
1 感じない	2

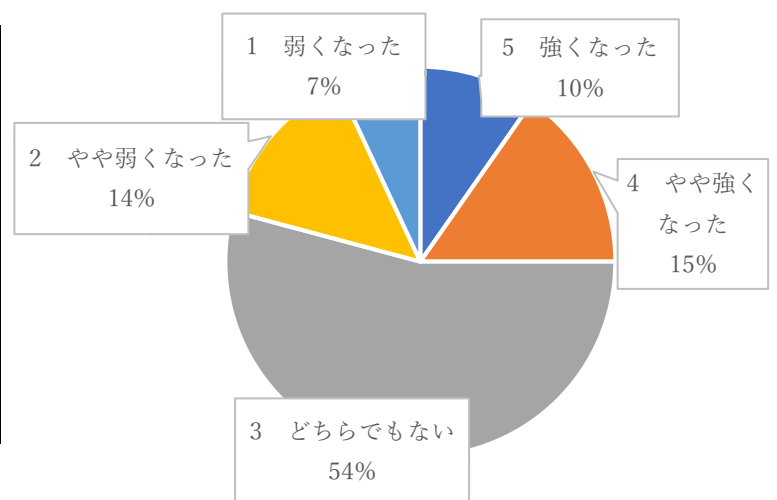


つながりを感じている人がやや多いことがわかる。同様に、感じていない人も一定数いることがわかる。

問7 問6で回答した「つながり」は、過去3年間でどのように変わりましたか。

5 4 3 2 1
 強くなった やや強くなった どちらでもない やや弱くなった 弱くなった

選択肢	回答数
5 強くなった	7
4 やや強くなった	11
3 どちらでもない	39
2 やや弱くなった	10
1 弱くなった	5

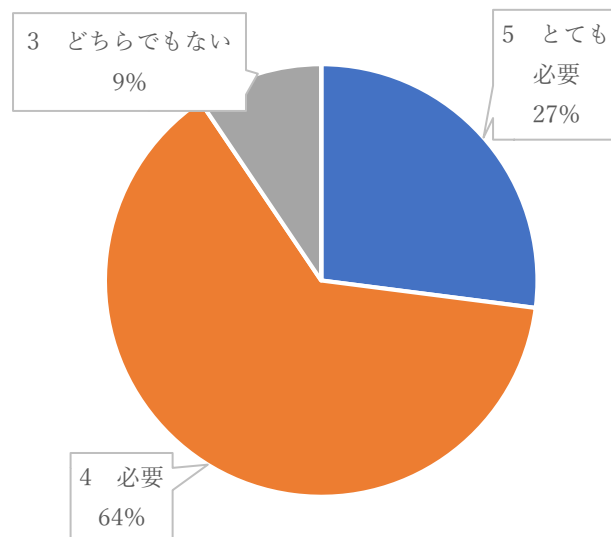


つながりの変化は強弱が均衡しており、6割の人が、つながりに変化があったことがわかる。強くなった方がやや多い。

問8 「つながり」は今後も必要だと思いますか。

5 4 3 2 1
とても必要 必要 どちらでもない あまり必要ない 必要ない

選択肢	回答数
5 とても必要	20
4 必要	47
3 どちらでもない	7
2 あまり必要ない	0
1 必要ない	0

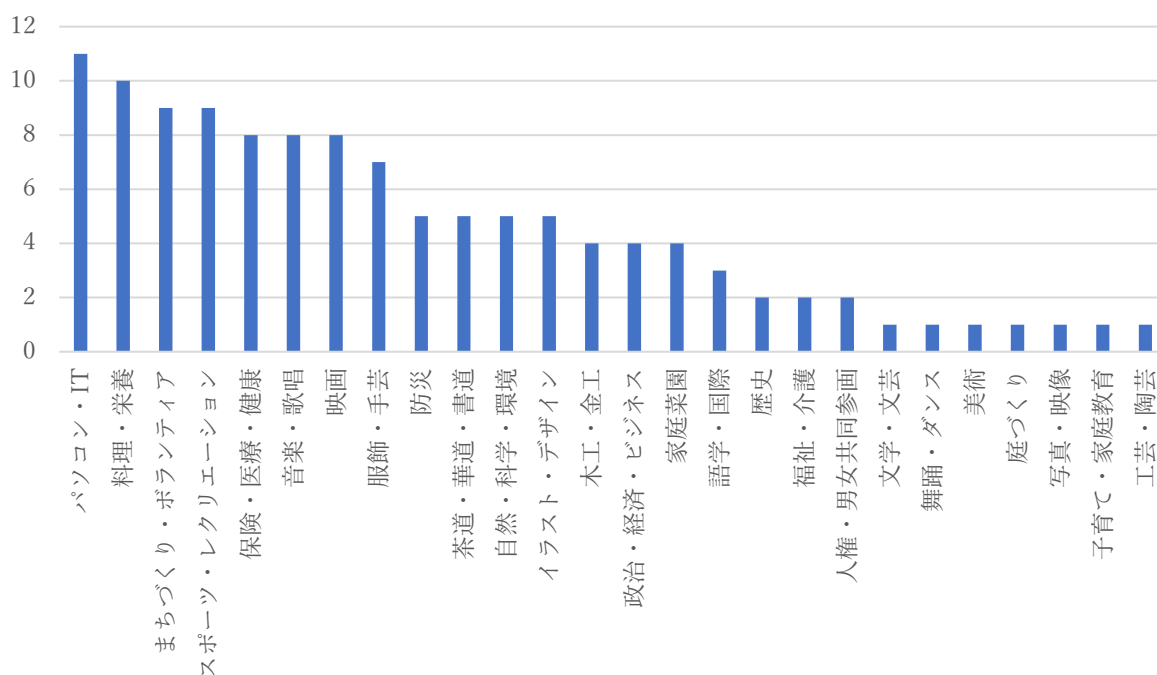


「あまり必要ない」「必要ない」を回答した人は0名で、「つながり」を必要と感じている人がほとんどだということがわかる。一方、「とても必要」よりも「必要」と回答した人の方が多く、緩やかなつながりを求めていることが推測できる。

問9 夕張市拠点複合施設「りすた」において、市民学習講座を実施していますが、今後開催してほしい講座があれば、お選びください。（3つまで選択可）

ジャンル	回答数	ジャンル	回答数	ジャンル	回答数
パソコン・IT	11	茶道・華道・書道	5	人権・男女共同参画	2
料理・栄養	10	自然・科学・環境	5	文学・文芸	1
まちづくり・ボランティア	9	イラスト・デザイン	5	舞踊・ダンス	1
スポーツ・レクリエーション	9	木工・金工	4	美術	1
保険・医療・健康	8	政治・経済・ビジネス	4	庭づくり	1
音楽・歌唱	8	家庭菜園	4	写真・映像	1
映画	8	語学・国際	3	子育て・家庭教育	1
服飾・手芸	7	歴史	2	工芸・陶芸	1
防災	5	福祉・介護	2		

その他 学校作り 電気工作など

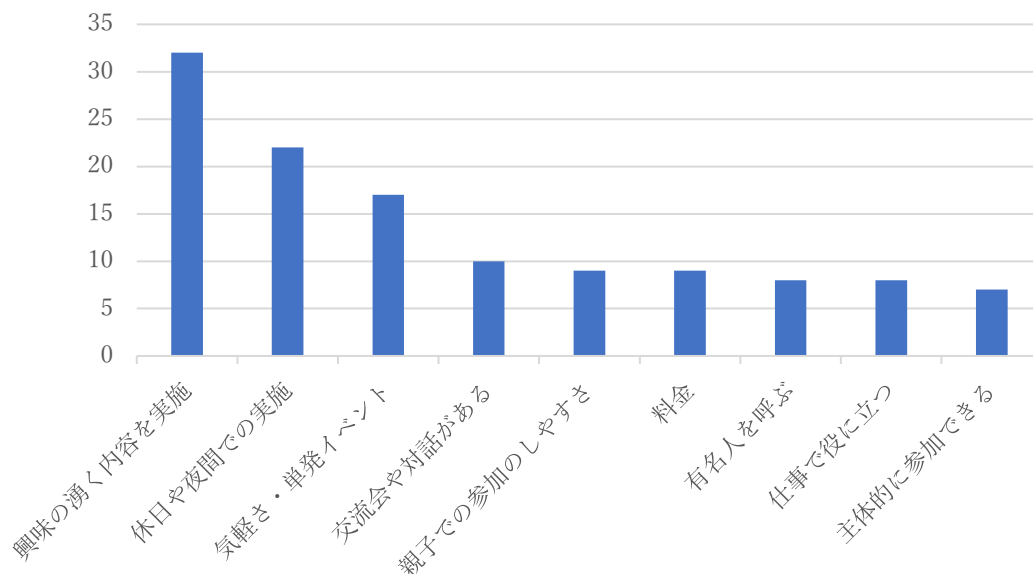


実用的な「パソコン・IT」「料理・栄養」が最も多かった。次いで「まちづくりやボランティア」が多かった。

問 10 市民学習講座に参加するとしたら、どのような点に注目し、重要視しますか。下記よりお選びください。(複数選択可)

選択肢	数字	選択肢	数字
興味の湧く内容を実施	32	料金	9
休日や夜間での実施	22	有名人を呼ぶ	8
気軽さ・単発イベント	17	仕事で役に立つ	8
交流会や対話がある	10	主体的に参加できる	7
親子での参加のしやすさ	9		

その他 人生が変わるかどうか,身内感を出さない,平日の夜間を希望します



「興味の湧く内容を実施」が最も多く、学習がより個人的になっており、知的
好奇心に従って学習することがわかる。

次ページからは、アンケートの自由筆記欄に
書かれた意見を記載しています。

【自由記述1】夕張市内での学習環境についての満足度で該当するものを、下記の中から選び、数字に○をつけてください。理由をお書きください。

(5 満足) 記述なし

(4 やや満足)

- ・静かなので集中しやすい。
- ・山、川、湖など、自然環境に恵まれている。
- ・子どもから高齢者まで生涯学習への意欲が高まっており、市教委からの学習機会への取り組みに満足している。
- ・人数が少なかったので、1人ひとりに目が届き、じっくり学ぶことができたように思います。

(3 どちらでもない)

- ・親目線でみると生徒数も少ないし、学習能力のレベルも低く感じるが、子ども目線からみると、今の状況(生徒数)が少なくても小さい頃から少ないからわからないし、レベルの低さもわからない。なので、3と解答しました。
- ・学習環境について考えたことがなかった。
- ・有意義な活動が多いと感じるが、内輪的で、新規入会のキッカケ作りが不足していると思う。関心の有無も二極化している。
- ・気軽に勉強出来るスペースがあるのかが分からないため
- ・学ぶ気持ちがあれば、インターネットを活用して、環境を作ることができる。
- ・自分の興味にもよるだろうが、毎回同じメンバーのことが多い。より多様性のある人たちと関わりを持ちたい。
- ・より高い学力を身につけたい人は、市外に出る現状があるということは、不満に思っている人がいるという事だと思うし、そうではない何かを得たい、もしくは、夕張から出られない人のために市内で良かったと思えるような学習ができているかどうかという意味で、「どちらでもない」。
- ・手軽に何かを習い始めるのに環境が整っているとは言えないが、やりたいことについて声をあげることはしやすい。(受け身では難しいが、自発的な活動はしやすい。)
- ・1人で勉強できるスペースが少ないと思ったから。
- ・サークル等の活動時間は仕事時間なので、参加等むずかしいので、③です。
- ・市民の学習に対する意欲がどれくらいあるのかよくわかりません。
- ・学習環境が少ない。

(2 やや不満足)

- ・キセキノはじめ色々な活動をしていると思うが、公民館や体育館を利用し、もっと、児童・生徒が学び

たいこと、やりたいことをやるべき。

- ・破綻前は、文化の日に子どもお花教室など、ちょっと本格的に楽しめる体験教室がいろいろありました。ちょっといろいろ体験できると嬉しいです。
- ・活動が続けられない、いつの間になくなっていたり、できなくなっている。
- ・学習の機会は市民の方が考え、行動していると考えられるが、周知の面で広く周知されにくいと感じる。子どもたちのキャリア教育のための学習の機会がもっとあって良いと感じる。

(1 不満足)

- ・塾や学習に役立つような教室がない。
そろばんや習字、プール、習わせたいと思う物が市内では何一つない。
- ・知らない
- ・つっこんだものがない。
- ・思い立った時に、すぐ実行できる環境がない。(パソコン教室とか)
- ・学べる環境がどれほどあるのか、わからない。

【自由記述2】地域に住む子どもたちに学んでほしいことはありますか、また、その学習方法はありますか。ご自由にお書きください。

【心・精神、道徳など】

- ・夢は叶うこと。自分は出来ると信じる心をつくる(メンタルの育成)。
- ・命の大切さや、道徳について。
- ・思いやり、お互い様、といった理不尽であったとしても赦す気持ちでいられる、平穏で過ごせる関わり方。考えを身につける。→学校、家庭以外のつながり(町内会?)、子ども食堂のように大人と話したり、遊べる環境。
- ・基本的生活習慣と道徳。

【社会性など】

- ・市外、道外、国外との何らかの交流が必要と考えます。コロナが終息したならば、ぜひ、行って交流、迎え入れての交流で、ぜひ外を知って頂きたいと思っています。「井の中の蛙」だった経験からの意見です。インターネットでも良いと考えます。
- ・社交性。
- ・特別支援教育については、養護学校を基点に交流ができるようになったらいい。
- ・現実的には無理だと思いますが、夕張市外の学校での合同授業。

- 小中高一貫学校的になっている現状では、狭い範囲内での競争しか生まれない。
- 市外の高校に通学している生徒は多少、外の世界を経験できている。

【学力関係・キャリア教育など】

- ・勉強の大切さ。
- ・食育について。
- ・小・中学生でも通える塾が無いので、今後そういう場をつくってほしい。
- ・《キャリア教育、キャリア学習、育成》

夕張市の立地は、札幌市や苫小牧市、千歳市に近いのですが、子どもたちへの情報は十分ではないと感じています。商業、農業に加え、工業も学んでほしいと感じます。

特に、小学生くらいの年代は将来の準備期間の時期であり、夕張市内にない業種や、学校で習わない知識をわかりやすく体験する機会が必要だと思います。これらの学習は、ワークショップでも可能ですが、継続が大切であり、継続は私たちボランティアでは難しい面があります。子どもたちの社会教育と学校との連携に教育委員会が中心となって、環境を整備してはどうでしょうか？都市部では普通に体験できる事が、夕張ではむずかしく、この格差が真の意味での教育格差だと思います。

- ・色々な勉強をしてほしい。学力が低いので。

【自然関係・農業など】

- ・本来「学び」とは、楽しいこと、学校の勉強だけではないことを知って欲しい。身近な自然に関心を持ってもらいたい。そして、夕張岳に登りましょう！
- ・夕張には、山中川など、豊かな自然に恵まれ、都会では、味わえない、自然体験の素材も多くあるので、我がマチを知る上での教育効果は、十分にある。
- ・自然を活かした知恵などを習得してほしい。（1人キャンプが流行っているし。）
- ・”自然”と遊ぶ方法(環境教育)。虫・鳥・植物の名前や生態系。
- ・メロンについてなど、地元について学んでほしい。

【炭鉱遺産・歴史など】

- ・石炭や炭鉱について。エネルギー源だった事や、利用方法。実際の利用。
- ・夕張について。昔、私が小学校の時は“ゆうばり”という教科書で勉強しました。
- ・日本のエネルギー産業を支えた、石炭の歴史を学び、炭鉱閉山後の暮らしや地域経済の変遷を通じての学習の場を設けて頂きたい。
- ・昔～現代における夕張の歴史・イベント。
- ・夕張の歴史を授業で学ぶ機会や教材はあるのでしょうか？その辺がわからないので、。（自分自身が子どもの頃、その土地の生い立ち？を1冊の本にしたものを小学校の時に配布され、社会の時間に勉強した記憶が今も残っています。入植から戦中戦後、その当時位までの歴史がまとめられていました。）

- ・夕張の歴史、炭鉱のことなど。
- ・石炭博物館は子どもたちに見学してもらいたい。夕張の歴史を学んでほしい。
- ・夕張の歴史、特に石炭、地元について学んでほしい。

【スポーツ・体力づくり、文化活動関係など】

- ・体を使った学習。
- ・スポーツは比較的、接することができますが、お茶、お花、着つけ、お料理(おかし)、工芸、手芸、などちょっとずつかじる程度でも接することができると、いいなと思います。先生たちお年齢が高くなってきているので、少しでも早く本物にふれてほしいです。
- ・スポーツ体験～専門的に人に教えてもらいたい。
- ・運動能力が低いと言われているので、(特に北海道は)身体能力がつくような活動があればよいのかなと思います。
- ・夕張の民謡を、学校の音楽の授業に入れてほしい。

【習い事など】

- ・小学校1～4年生を対象に、将棋教室(将棋の指導)
 - 札幌将棋センターの先生方の指導(プロ、アマの先生を1年に何回か呼ぶ。また、こちらからも札幌に行く。希望者のみ)

【その他の意見】

- ・仕事をしろ！！
- ・最近の SNS の利用方法。
- ・財政再生について。インターネット活用。
- ・むずかしいです。
- ・なし。

【自由記述3】拠点複合施設りすた(貸室及び図書館含む)を利用した上で、良い点や不便な点、改善してほしい点があれば、自由にお書きください。

- ・・・良い点
- △・・・不便な点
- ◇・・・改善してほしい点

- いつも掃除がいきとどいていてきれい。
 - 子どもも利用するのを楽しみにしている・ありがたい施設です。
 - 空間が開放感ある。用事が無くても訪れたい。
 - 貸室も図書館も利用しやすいが、日曜日が休みは困る。りすた全体が清潔だが夏は暑すぎる。
 - 良い点としてトイレが使いやすいのと自動販売機があること。
 - 良い施設だなと思います。もっと沢山の人(特に小さい子ども、その親とかに利用して欲しいなと感じました。おもしろそうな本が結構あるなあと思いました。
 - 子どもを遊ばせるのに最適。
 - △使用料が安い。常連の方で先がうまっていることが多い。
 - ◇芸能協会の会議で利用しました。人数に応じて大きさがあること、明るくて良い。着替え時は鏡とカーテンがほしい。
 - ◇交通の市内の結節点としてアクセスが良くなった。又、改善点としては、図書館内に日刊新聞など配置されると良い。(予算内の検討を。)館内でのバス待ち合いのための座る椅子がもう少し多くして頂きたい。
- △グランドピアノが置けない、使えない。
- △ごちゃごちゃしている。
- △防音室が防音ではありません。
- ◇真夏の利用時はとても暑かったので、空調設備があると利用者と職員、両者とも快適にすごせると思います。
- ◇グランドピアノ設置が必須であると、企画検討委員会で強く要求が出されていたが、実現されていない。音楽活動への理解の低さに呆れる、としか言いようがない。
- ◇子どもの遊び場は足りない。文スポで十分だ。うるさくて本も読めない。
- ◇夏暑い。災害時等で避難してきた場合、過ごしやすい環境が必要。
- ◇本の分類をくわしく置いてほしい。
- ◇Wi-Fi環境を良くしてほしい。
- ◇貸室や展示コーナーなど、市民の意見を取り入れを工夫してほしい。
- ◇とても内装等きれいであると思います。花を外に置いています、置くなら、花壇を作って花を植えた方がいいと思います。
- ◇社会教育でもネットワーク利用は、重要と思います。りすたは、フリーWi-fiが利用可能ですが、セキュリティが確保されていないようですので、セキュリティが確保されたネットワーク環境を整備していただきたい。(PC等の常時接続に不安があります。)また、リモートでの利用を考えられるので、ケーブル接続によるネットワーク利用環境が整備されると良い。(ネットワークの速度がWi-fiよりケーブルの方が速いため。)
- 施設は清掃が行き届いており、きれいで気持ちよく利用できると思います。子どもたちのスペースも確保されており、子育て中の方にとっては、良い設備と感じます。
- 夏季の利用においては、空調を改善していただけると良い。貸室は冷房されているようですが、施設全体も冷房されると良い。夕張市は空調の整備された環境が少ないので、熱中症対策として今後、御検討いただきたいです。

【自由記述4】ゆうばり文化スポーツセンターを利用した上で、良い点や不便な点、改善してほしい点があれば、自由にお書きください。

- 子どもが無料で遊べるスペースがあり、親子として嬉しいです。
- トレーニング室を利用していました。
 - シャワー室が利用できなかったのも、やめてしまいましたが、今は使えるようなので利用してみたい。
- △文化スポーツセンターで行われている運動等は、時間帯が遅く、利用できない。
- △窓口付近に立っていても、中のスタッフが気づいて声かけて頂けたことが1度もない。接客の気持ちが良いです。知らんぷりされる施設には、行く事がおっくうになります。
- △事務所の中が見えにくい、入りにくい。
- △芸能特選をしましたが、床面にゴムマットを引くのが重いので若い人の力がある。会員も少なくなり、リサタを利用しようと思っています。(人数が多い時はいいと思う)
- △利用しやすいが交通の便が悪い。
- △トイレが古くて使いづらい。
- ◇交通の便が悪い。子どもが文スポに行きたいと思っても、親が送迎しないといけないし、バスも本数が少ない。もっと子どもが子どもたちだけで動ける交通手段を作してほしい。
- ◇トレーナー等をつけての筋トレ等が出来れば良い。
- ◇市民向けの貸室料や使用料は比較的安く設定されており、もっと多くの市民が健康維持を含め利用されてはどうか。
- ◇ずばり!!使用料→改善して欲しい。良い点→きれいである。
- ◇トレーニング器具を増やしてほしい。(スポーツセンター)
- ◇水のみ場がほしい。
- ◇ランニングマシンを1台増設、又は古いのと交換してほしい。もう少し器具の充実さがあるといいです。

【自由記述5】夕張市石炭博物館を利用した上で、良い点や不便な点、改善してほしい点があれば、自由にお書きください。

- 夕張の歴史が伝わるのでとてもよい
- ◇夕張市石炭博物館は、説明してくれる学芸員が居て欲しい。
- ◇石炭博物館は、模擬坑道とのセットで、石炭の歴史を知る上で、学術的にも貴重な施設であり、パネル展示など動線がわかりやすく設置されて良い。なお、スペースに余裕があれば、炭鉱生活の道具や化石類などの展示をされてはどうか。

- ◇以前は、石炭の歴史や夕張の歴史を学べたので、すっかり殺風景になってしまって残念でしかない。
- ◇夕張の歴史を読んでいくのは、量がかなり多いので大変ですが、読みごたえはありますね。定期的に特別展？展示が変わるのは良いですね。地下坑道の再開、大変だと思いますが、全国的に見ても貴重な展示だと思うので、もう一度見たいです。

(その他の意見)

- ◇市民健康会館 清水沢の体育館にも、色々なクラブ活動等の開館してほしい。

【自由記述 6】 夕張市内の文化財において、今後の保存や活用に関して、考えがある場合はお書きください。なお、文化財については、市等で登録されていないものであっても、回答者が文化財であると考えているもので構いません。また、回答者が考える、今後街に保存し残すべき文化財や遺産があれば、どのようなことであってもよいので、お書きください。

【炭鉱遺産関係】

- ・早く、坑道の復活をお願いしたい。ズリ山
- ・国策によって生まれ、消えたマチとして大夕張の歴史をもっと丁寧に残していくべきだと思う。鹿島眺望公園に案内看板を設置すべき。
- ・石炭、炭鉱、ダムに沈んだ町
- ・石炭、炭鉱に関わるもの、夕張神社、ダム。
- ・鹿鳴館に関して、老朽化が進むのは、淋しく感じています。保全が必要でも、そのままなのは、あまりにも悲しい。
- ・鹿鳴館の保存。冬の雪なげボランティア(年2回)、修理、道路の除雪。
- ・夕張鹿鳴館は外観だけでも見学できるようにすべき。
- ・鹿鳴館がどのようなになっているか心配です。
- ・炭鉱に関するものは、清水沢プロジェクトに関与してもらおう。
- ・炭鉱や鉄道の安泰を祈願されてきた夕張神社は、歴史も古く、拝殿には、東郷平八郎直筆の書が保存されており、文化財として価値があるので、多くの方にPRされてはどうか。
- ・石炭博物館。
- ・大型バスが石炭博物館の横まで入れないことは、障がいのある方にとって不便です。

- ・夕張といえば炭鉱であり、炭鉱は日本の産業を支えた歴史もあります。炭鉄港として、かつての工業を支えた遺産として注目されていると感じますが、多くは人知れず朽ちているのではないかと思います。坑口や炭鉱に関連する施設について、その役割や影響などを記した MAP や、夕張市外の方も対象とした坑口ツアーなどがあると良いのでは？炭鉄港の流れに乗ると良いと思う。

【自然遺産関係】

- ・夕張岳、自然を大切にしよう。
- ・メロン、滝ノ上公園、夕張岳、新旧のダム
- ・夕張岳の林道整備。

【交通関係】

- ・JR の駅舎が南清水沢駅以外活用されていないのが、もったいなく、何が出来るのでは、と思っています。
- ・歴史村の SL 保存館の活用、もしくは、SL の移動、たとえば市内の旧駅。

【公園・特定の場所】

- ・風致公園です。あれほどもったいない公園はないです。何か活用してほしい。昔、アスレチックがありました。もうないのでしょうか？
- ・清湖町を何か活用できたらいいなど。山ぶどうや水芭蕉など、自然も豊かなので。

【文化・美術関係】

- ・平和のサッカー場にあるステンレスの作品。
- ・夕張の民謡(黒ダイヤばやし、夕張小唄など)。
- ・スポーツセンターにある絵画。

【その他の意見】

- ・夕張は何をしても、管理する人材や、環境が継続出来ず、すたれてしまう。
- ・むずかしいです。
- ・年に1回くらいは補修作業した方が良い。
- ・なし。
- ・どんな文化財であれ、やっぱりお金が無いと保存は難しいと思います。そのお金を集める手段をまず考えるべきかな、と思います。鹿鳴館はどうなっちゃうんでしょう。
- ・そもそも文化財や遺産がどのくらい市内にあるのかわからないが、幅広いジャンルの有識者に検討し

てもらった方が良いと思います。

※団体や組織によって価値観が違うため。

そして、保存や活用するものが、決まったら夕張市として長期的な保存・活用計画を立てるべきであり、それに伴う予算措置は惜しまない方が良い。少ない予算で管理する事が財政面では望ましいが、管理できなくなり最終的に売却や放置する事になってしまうのであれば、初めから除却した方が良いでしょう。

- ・文化財の価値のわかる人に保存してほしい。(貴重なものでも、そこらへんにおかれていることがあるから。)

【自由記述 7】「10年後の夕張市にいてほしい市民の姿」を想像し、その姿についてご自由にお書きください。

- ・元気な市民
- ・行事に積極的に参加。
- ・協力しあえる市民。
- ・優しい人
- ・大勢
- ・助け合える市民
- ・色々なことに挑戦し、取り組めるような人。
- ・市民が1人でも多くいる夕張市
- ・働く場所があって若い世代の家族がたくさんいてほしい。
- ・不便を楽しめる人間、他人のやっている(やろうとしている)ことに興味を持てる人間。
- ・お互い人として思いやりのある人間。
- ・交通が不便、買物する場が少なすぎる。個人の店は態度わるい。
- ・「つながり」を大切にできる市民の姿。また、つながりを重んじるリーダーシップが必要です。
- ・不平不満があるならば、その解決に向けて、有言実行していく人。口を出すなら手を出す人。
- ・未来を見据えた都市計画であるコンパクトシティ計画が着実に進められ、福祉が充実し、高齢者も生き生き元気なマチの姿をイメージしている。とくに、夕張の人々は、人情も厚く、豊かな自然と共に暮らし続ける高齢化による先進都市に生まれ変わった夕張を想像している。
- ・お店や病院等が近くにある地域でいてほしい。清陵3区が住宅を壊した後、パークゴルフ、ゲートボール等のスポーツの場(先例→南幌町みたいな感)にしてほしい。
- ・自ら人とつながり、余暇や趣味を楽しめる人たち。(仕事だけしていれば認められる、という時代はおわりました)。仕事以外のライフワークをみんなが持っている。
- ・暗いイメージは残っていると思いますが、。自信を持って「夕張に住んでます」と言える。(今でも「あ

～あの夕張、、」という感じで言われることがあります。負けずに「静かで住みやすいです！」と言っていますが。)

- ・公務員(役所、消防など)勤務している人が、まず夕張市に住む!!!という姿が見たいです。住んでいないのに夕張市民にこのようなアンケートをとったところでダメだと思います。まずは、自分達が住んで、改善していかないといい夕張市にはならない。絶対にならないと思います。住まない=住みづらい、それなら住みやすいように自分達が変わればいいのでは?10年後、努力すれば必ずよくなると思います。自慢できる夕張をつくれればいいと思います。

【自由記述8】 グループ活動や地域活動を続けていく上で困っていること、今後の夕張市の生涯学習についてなど、特記したいことがあれば、ご自由にお書きください。

- ・もっと「こういうものがあります」という、お知らせをわかりやすくしてほしい。
- ・今はコロナで参加しづらい、参加する人が少ない、仕事終わりに行くのは辛い。
- ・文化協会と芸能協会の統一
1年間の行事を(催事を)市民のボランティア、時には市の職員も参加するように!(地区で人の数がたりない時は、協力し合う。)
- ・人が集まって交流できる場(おまつりなど)が増えていくと良い。
- ・ここは何をやってもダメだ。子育てなんてどうでもいいから、年寄りの事を考える。
- ・何をやるにしても市外に行かないといけな。学習させたい。習い事をさせたいと思っても、市内にないのでどうにもならない。これも、あれもできる、その中から何を習おう?何がやってみたい?という選択もできないので、「知らない」子どもたちがかわいそう。やってみなきゃ何が好きなのか、何を伸ばしてあげられるのかわからない。「お金がないから」で片付けるのではなく、子どもたちに何ができるのか考えてほしい。子どもが大きくなるにつれ、市外への転出を考えざるを得ない。
- ・脳科学者 中野 信子さん、居酒屋てっぺん 大嶋 啓介さん、大愚 和尚さん、ソフトバンク 孫正義さん、ホンダ技研 本田 宗一郎さん、高井 利夫さん等々のお話を聞かせて頂き、自分の人生・生き方が変わりました。皆様方も是非参照願います。
- ・私が知らないだけなのかも知れませんが、りすたでイベントをやったりすることなど、もっとみんなが知れるようにしてほしいです。例えば、りすた他にイベントスケジュールなど、大きく貼っていたり、、。りすた使用についても、カレンダーなどで“空”情報をわかりやすくしたり、、。
- ・第一に高齢化による人材不足、後継者不足、活動のマンネリ化、個の尊厳と全体(家族や共同体)の利益のバランスの重要性を再考すべき。
あらゆるものが「商品」として消費されていく流れに、身体を張って抗う姿勢を大人が示さなければ、

子どもに未来はない。「地方」も然り。「他人に迷惑をかけない」呪縛から解放され、「お互い様」の精神を取り戻す勇気が必要。

- ・グループ活動は、人と人との連携が生まれ、学びの成果は『人づくりは、地域づくり』にもつながり、生涯学習活動は、地域の力を引き出す要素であり、社会教育の原点ではないか。今後、りすたを核とした生涯学習の発信地として、地域の活性化に多くの市民の参加を期待したい。
- ・趣味を通じて体も気持も元気に過ごしていた高齢者がコロナ禍で孤立していないか心配です。コロナ禍でもできることを模索して高齢者が元気になる活動ができるとよいと思っています。

《民謡会より》

民謡の活動は中々できない状況です。(道内のすべての大会が中止になっています。)唄うことが感染をひろめる原因になるので感染がおさまるのを待っています。りすたで大会を開く予定ではあります。

民謡会は会員が減っていますが、幼少年の会員もいます。

会員を増やすために、民謡をもっと身近に感じてもらえる工夫が必要かと思えます。

地域での活動は人が減っているほか、1番の問題点になっているのでは?どのようにしたら人を確保できるのか?

またコロナ禍にどう対応していった活動していくのか?

夕張は人とのつながりがとてもあたたかいまちです。良い所かいかさされるように何かお手伝いできればと微力ながら思っています。

- ・社会教育はあらゆる年代の市民にとって考え方や物事のとらえ方の幅を広げる貴重な機会であると考えます。

りすたは、施設利用に加えて、社会教育に関わる情報の拠点として、教育団体や、市民団体、NPOなどとのかけ橋として情報発信していただきたいと思えます。

また、様々な団体が活動されているとは思いますが、横のつながりがあまりないのではないかと感じます。社会教育に関わる方々の情報交換の場があっても良いと思えます。それぞれの団体の得意分野で協力できると、より効果的な事業が行えると感じます。

- ・特にありません。
- ・特になし。

※内容が過激で、個人や民間団体への非難や苦情は掲載していません。
また、漢字の変換など、軽微な誤りは訂正しています。

